

2022年度 日本工学院八王子専門学校

声優・演劇科

基礎演技IV

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習+実技	時間数	70	単位	2
担当教員	室生春、磯辺万沙子、岩崎正寛	実務経験	有	職種	演出家(室生)、声優(磯辺、岩崎)、俳優(室生、磯辺、岩崎)						

授業概要

個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。

到達目標

表現の内容を他者（観客）に正確に伝えられる技術の基礎をより発展した形として身につけることを目標とする。様々な戯曲に触れ、演劇的な知識を広めることはもちろん、演劇の作り方によって協働の意味を知り、作品を創り上げることにより協調性を養う。また、役者のあり方を学ぶことによって自分自身にできることを実践し、精神と肉体を鍛え上げる。すべては観客のためにあることを考えられる人間になれることを最終目標とする。

授業方法

俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切にした授業を引き続き行う。舞台総合実習に繋げるための準備として戯曲を様々な観点から考察する。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる、様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学び、演劇を通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したことを実感できる授業を目指す。

成績評価方法

授業態度・授業参加の積極性・授業時間内の発表における取組方等、自己の能力をどれだけ高められたかを総合的に評価する。

履修上の注意

学生、教員がお互いを尊敬しあい、和やかに、かつ礼儀正しく行われることを基本とする。理由なき欠席・遅刻は認めない。携帯電話、スマートフォンの電源は切る、私語は慎む等、社会の常識的な行動は常に意識すること。課題には積極的に取り組むこと。社会性無いものは役者としても大きな欠陥があることを理解すること。成果も大切だが、取り組む姿勢を最も大事にしなければならない。また、授業時数4分の3以上出席が必須。

教科書教材

必要に応じて隨時、課題のテキスト及び台本配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

回数	授業計画
第1回	(短編台本) キャラクターの生き立ちなど、役柄の必然を解釈する
第2回	(短編台本) 役を作る上での必要なことを理解する
第3回	(短編台本) 役柄を考えた演技表現を目指す

第4回	(短編台本) 総合的なパフォーマンスの重要性を理解する
第5回	台本配布。作品を理解する。
第6回	オーディションにより配役を決定し、自分の役に向き合い研究する
第7回	作品をつくる際の役割、分担などを理解する
第8回	台詞の意味を考え、与えられた役を理解する
第9回	それぞれの場を考察し、シーンを細かく分析する
第10回	各シーンを作り上げて行く過程を考える